

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
障害児の心理	講義	2単位	岩下 美穂

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

1. 「障がい」とはどのようなことを指すのか、説明することができる
2. 代表的な障がい、障がい児の心理・行動面の特徴について、説明することができる
3. 障がいを持つ子ども、およびその家族への支援について、具体的に考え、実行することができる

【授業の概要】

まず「障がい」とはどのようなことをいうのか、ICF(国際生活機能分類)をもとに整理する。その上で、障がいを持つ子どもたちの心理・行動面の特徴を学び、理解を深めるとともに、いくつかのワークを通じ、障がいが子どもの発達や社会生活などにどのような影響を及ぼすのかについて学ぶ。それらをふまえて、障がいを持つ子ども、そして家族に対する支援・対応のあり方について考えていく。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション

【事前学習】 シラバスを熟読しておくこと

【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること

2. 障がいとは —障がいの分類と障がいのとらえ方

【事前学習】 「障がい」について自分が持っている知識・イメージなどについて整理し、まとめておくこと

【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること

3. 乳幼児における障がいとその支援

【事前学習】 健康診査について調べ、自身の母子手帳があれば記載の内容を確認しておくこと

【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること

4. 発達支援のためのアセスメント —アセスメントとは

【事前学習】 身近にある「アセスメント」を取り上げ、その目的を調べてみること

【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること

5. 発達支援のためのアセスメント —アセスメントの方法

【事前学習】 子どもを理解する方法にはどのようなものがあるか、実習での経験もふまえ、整理しておくこと

【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること

6. 発達支援のためのアセスメント —アセスメントと支援

【事前学習】 保育・教育の現場でアセスメントがどう生かされているか、調べておくこと

【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること

7. グループワーク —わかりやすく「伝える」とは

【事前学習】 自分のコミュニケーションを点検し、うまくいく場合、いかない場合、その要因を整理しておくこと

【事後学習】 体験を通じ、わかりやすい表現・伝え方について復習し、整理しておくこと

8. 視覚障がいの理解とその支援

【事前学習】 視覚における障がいがかたがた影響について、調べておくこと

【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること

9. 聴覚障がいの理解とその支援

<p>【事前学習】 聴覚における障がいもたらす影響について、調べておくこと</p> <p>【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること</p>
<p>10. 知的障がいの理解とその支援</p> <p>【事前学習】 知的機能における障がいもたらす影響について、調べておくこと</p> <p>【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること</p>
<p>11. 神経発達症群とは —ビデオ「君が僕の息子について教えてくれたこと」</p> <p>【事前学習】 「神経発達症群」とはどのような特徴を持つものか、調べておくこと</p> <p>【事後学習】 ビデオを通じ、神経発達症群について気づいたこと、学んだことを自分で整理しておくこと</p>
<p>12. 自閉スペクトラム症の理解</p> <p>【事前学習】 自閉スペクトラム症(ASD)もたらす影響について、調べておくこと</p> <p>【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること</p>
<p>13. 自閉スペクトラム症の支援</p> <p>【事前学習】 前回の授業を踏まえ、保育者・教育者としてどのような支援ができるか、考えておくこと</p> <p>【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること</p>
<p>14. 注意欠如・多動性障がいの理解とその支援</p> <p>【事前学習】 注意欠如・多動性障がいもたらす影響について、調べておくこと</p> <p>【事後学習】 ノート・資料をもとに授業内容を整理し直し、その理解の程度を自己評価すること</p>
<p>15. 試験およびまとめ</p> <p>【事前学習】 これまでの授業内容を整理し、ノート・資料をまとめ直しておくこと</p> <p>【事後学習】 教育現場において、障がいを持つ子どもに自分はどのような支援ができるか、まとめておくこと</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>障がいについて、新聞・本・映像作品・インターネットなど、さまざまな資料から積極的に情報を得ること</p> <p>事後学習で不明な点・疑問点が見つければ、質問できるようにしておくこと</p> <p>複数回、ワークも行うので、自ら学ぼうとする姿勢で授業に取り組むこと</p>
<p>【成績評価】</p> <p>平常試験(60%) まとめ・振り返りシートの評価(30%) 授業参加状況(10%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>まとめ・振り返りシートについて、評価およびコメントとともに返却する</p>
<p>【テキスト】</p> <p>特になし</p>
<p>【参考文献】</p> <p>『障害者心理入門 第2版』 井澤 信三・小島 道生編著 ミネルヴァ書房</p> <p>『発達障害の心理臨床 —子どもと家族を支える療育支援と心理臨床的援助』 田中 千穂子 他編 有斐閣</p> <p>『特別支援児の心理学—理解と支援—』 梅谷 忠勇 他編著 北大路書房</p> <p>『障害児保育 新版』 渡部 信一・本郷 一夫・無藤 隆編著 北大路書房</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>無し</p>